



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 相模ゴム工業株式会社
 コード番号 5194 URL <http://www.sagami-gomu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大跡 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部本部長 (氏名) 吉田 邦夫

TEL 046-221-2311

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	4,171	0.4	896	7.1	1,150	81.4	853	131.9
2021年3月期第3四半期	4,152	16.3	836	15.3	634	26.5	368	32.0

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,042百万円 (529.9%) 2021年3月期第3四半期 165百万円 (59.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	78.65	
2021年3月期第3四半期	33.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	16,093	8,503	51.2
2021年3月期	15,719	7,569	46.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 8,244百万円 2021年3月期 7,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期				10.00	10.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	0.2	1,200	2.4	1,200	17.0	800	33.8	73.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	10,937,449 株	2021年3月期	10,937,449 株
2022年3月期3Q	80,319 株	2021年3月期	80,000 株
2022年3月期3Q	10,857,265 株	2021年3月期3Q	10,857,514 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスデルタ株の感染が収束に向かいつつありましたが、しかし四半期後半に、欧米を中心に感染力の強いオミクロン株が急激に拡大するに従い、日本でも感染者数が急増し、生産活動の制限などにより経済活動の足かせとなっております。

また、原油価格の高止まりや国際的な商品需給の逼迫の長期化によるインフレ懸念が危惧されるなど、依然として予断を許さない状況であります。

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大から本格的な需要が回復しない状況の中で、生産・販売活動を展開するとともに、コスト競争力の一層の向上に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,171百万円(前年同四半期比0.4%増)、営業利益は896百万円(前年同四半期比7.1%増)、営業外収益を為替差益242百万円計上し、経常利益は1,150百万円(前年同四半期比81.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は853百万円(前年同四半期比131.9%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

ヘルスケア事業は、マレーシアでの設備の新設及び更新が完了し、従来設備とのバランスを取り、新型コロナウイルス感染防止に引き続き留意しながら稼働率の向上に努め、ポリウレタン製コンドームを中心に販路の拡大を行っております。この結果、ヘルスケア事業の売上高は3,142百万円(前年同四半期比0.9%増)、営業利益は1,151百万円(前年同四半期比6.2%増)となりました。

② プラスチック製品事業

プラスチック製品事業は、原油の需要超過状況が継続していますが、コロナ禍による産出国の生産能力の停滞等により、原料価格の高騰が続いています。事業収益の確保を目指して、販売価格の修正を引き続き行っております。この結果、売上高は868百万円(前年同四半期比1.6%減)、営業利益は50百万円(前年同四半期比32.6%減)となりました。

③ その他

入浴・介護サービス及びその他の事業の売上高は160百万円(前年同四半期比1.8%増)、営業損失は50百万円(前年同四半期は営業損失65百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、受取手形及び売掛金や機械装置及び運搬具の増加等により、前連結会計年度末に比べ373百万円増加し、16,093百万円となりました。負債につきましては、長・短期借入金の減少により、前連結会計年度末に比べ559百万円減少し、7,590百万円となりました。純資産合計につきましては、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ933百万円増加し、8,503百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は4.5ポイント増加し、51.2%(前連結会計年度末は46.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月19日に発表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,474,580	703,332
受取手形及び売掛金	971,147	1,218,831
電子記録債権	1,085,463	1,136,819
棚卸資産	1,570,887	1,788,474
その他	60,775	93,188
貸倒引当金	△31,966	△30,652
流動資産合計	5,130,888	4,909,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,423,450	3,692,090
減価償却累計額	△1,517,026	△1,583,255
建物及び構築物(純額)	1,906,424	2,108,835
機械装置及び運搬具	7,948,809	11,502,715
減価償却累計額	△3,893,332	△4,289,630
機械装置及び運搬具(純額)	4,055,477	7,213,085
土地	1,046,943	1,051,927
建設仮勘定	2,785,640	10,095
その他	250,625	263,856
減価償却累計額	△198,263	△201,061
その他(純額)	52,361	62,795
有形固定資産合計	9,846,847	10,446,739
無形固定資産	15,795	13,648
投資その他の資産		
投資有価証券	461,419	438,227
繰延税金資産	170,435	183,186
その他	97,439	104,076
貸倒引当金	△3,274	△2,455
投資その他の資産合計	726,020	723,034
固定資産合計	10,588,664	11,183,422
資産合計	15,719,553	16,093,415

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	192,099	217,457
電子記録債務	214,084	233,490
短期借入金	5,005,374	4,813,603
未払法人税等	178,540	101,620
賞与引当金	78,362	39,358
その他	515,231	728,713
流動負債合計	6,183,693	6,134,244
固定負債		
長期借入金	1,456,967	943,316
役員退職慰労引当金	397,266	412,184
退職給付に係る負債	100,452	90,005
資産除去債務	5,381	5,381
長期預り保証金	3,100	3,100
その他	2,927	2,072
固定負債合計	1,966,093	1,456,059
負債合計	8,149,787	7,590,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	676,518	676,518
利益剰余金	7,009,376	7,754,752
自己株式	△35,455	△35,796
株主資本合計	8,197,875	8,942,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,261	171,288
為替換算調整勘定	△1,049,403	△869,356
その他の包括利益累計額合計	△863,141	△698,068
非支配株主持分	235,031	258,268
純資産合計	7,569,765	8,503,111
負債純資産合計	15,719,553	16,093,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	4,152,965	4,171,204
売上原価	2,358,875	2,414,085
売上総利益	1,794,090	1,757,119
販売費及び一般管理費	957,476	860,989
営業利益	836,613	896,129
営業外収益		
受取利息	923	1,065
受取配当金	15,902	16,473
為替差益	-	242,156
助成金収入	19,460	7,590
作業くず売却益	6,385	6,611
その他	11,313	13,709
営業外収益合計	53,984	287,606
営業外費用		
支払利息	34,712	29,559
為替差損	214,646	-
持分法による投資損失	6,818	3,724
その他	44	0
営業外費用合計	256,222	33,283
経常利益	634,375	1,150,452
特別利益		
固定資産売却益	100	26
特別利益合計	100	26
特別損失		
固定資産除売却損	3,664	471
特別損失合計	3,664	471
税金等調整前四半期純利益	630,811	1,150,008
法人税等	276,055	283,400
四半期純利益	354,756	866,608
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,509	12,657
親会社株主に帰属する四半期純利益	368,265	853,950

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	354,756	866,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,932	△14,972
為替換算調整勘定	△214,558	188,594
持分法適用会社に対する持分相当額	324	2,031
その他の包括利益合計	△189,302	175,652
四半期包括利益	165,453	1,042,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,617	1,019,024
非支配株主に係る四半期包括利益	△24,163	23,236

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は、以下のとおりです。

(1) 国内販売

収益認識に関する会計基準の適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の国内の販売において、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

(2) 輸出版売

輸出版売においては主に船積み時に収益を認識しておりましたが、インコタームズで定められた貿易条件に基づき危険負担が顧客に移転した時に収益を認識する方法に変更しております。

(3) 販売手数料

従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました販売手数料のうち一部を取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は107百万円減少し、販売費及び一般管理費は107百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益、利益剰余金の当期首残高に影響はありません。なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。